

平成27年度 学校評価 (年度末評価)

9 須坂東高等学校

本年度の重点目標	成果と課題
1. 授業を充実させ、生徒の学習習慣の確立と進路実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価を年2回実施し、各授業の改善に活かすことができた。 ・授業の環境を整えるよう努めているが、授業の始業と終業が一部統一されていないところがあり、その意識の統一を徹底する必要がある。 ・週末課題や調査前学習集中週間により学習週間の確立を目指したが、形骸化しているところもあり、さらなる学習週間確立のための方策を模索する必要がある。 ・生徒（保護者）向け「進路だより」を年間16回発行し、進路意識の醸成を図ったが、校内外実施の学校説明会等への参加が少なく、さらに進路情報をどのように発信し意識化するかが今後の課題である。
2. 規範意識と自他を敬愛する心を育て、安全で安心な学校づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題について、関係職員が情報を共有するように努めた。 ・問題行動について集会を利用して効果的に話げできた。また、「生活指導たより」を発行して効果的に啓発できた。 ・スマホの扱いについて、清掃時間も授業中に準ずると確認した。「授業中は、ロッカーにしまう事」となっているが、手元に置いたまま授業を受けている生徒が少なからずいると思われる。休み時間中ひっきりなしにスマホをいじる生徒の指導をどうするかが今後の課題になると思われる。 ・ネットやSNSの利用について、規範意識に欠け問題行動に発展したり、人間関係のトラブルを起こした事案があった。更なる啓発活動が必要である。 ・生活指導アンケートを基に面接週間を利用していじめを指導できた。 ・すべての生徒が安心して安全な学校にするため、相手の立場に立って物事を考えられる生徒を育てるようにしていき
3. クラブ・生徒会活動の充実と切磋琢磨する校風の醸成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの活動状況など地域や家庭などに広く伝わるような環境整備を模索する。 ・運動部に於いても文化祭などの招待試合以外に、日頃のクラブ成果を発表する機会を作りたかった。 ・ボランティア、地域の行事等、意欲的に参加、協力していけるように努めたい。 ・今後も文教地区の特性を生かしながら積極的に生徒会活動を関わらせていきたい。 ・委員会の地道な日常活動に対し充実した活動支援を今後も続けていきたい。
4. 保護者・同窓会・地域などと連携・協働し、開かれた学校づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「日滝の杜」を保護者向け7回、外部向け4回作成し発行した。 ・公開授業の案内を地域にも出した（回覧板で依頼）が、地域住民の来校は少なく、学校への関心が高まるような取組を考えたい。

評価項目	評価の観点	評価の観点				成果と課題	
		不十分	やや不十分	普通	良好		
1-1 授業の充実	a授業に集中できる環境を整えることができたか。	22%	67%	6%	6%	・授業の始業と終業について一部徹底できていなかったため、その徹底を図るとともに、黒板の利用についても次の授業に差障りの無いよう、使用者の責任において管理を徹底することが必要である。	
	b授業評価をもとに、生徒の学習意欲を喚起するべく授業改善に努めたか。	28%	50%	17%	6%	・年2回の授業評価をもとに授業改善に取り組むことができたが、教員同士の授業見学を活性化させることや、本年度実施したアクティブラーニング研修のように、新しい授業の取り組みについて各教員と全体での研究が必要である。	
1-2 学習習慣の確立	a週末課題等を活用し、生徒の自主的な学習を促すことができたか。	11%	67%	17%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題は家庭においての学習習慣定着のために一定の効果はあったと思われるが、自主的に取り組むことのできない生徒も見受けられ、学力の定着向上に実効があったかどうか検討が必要であり、新たな学習習慣の確立と学力定着のための取り組みの模索が必要である。 ・週末課題の提出のみの確認ではなく、学習内容が定着しているかどうかを各教科で確認する方法を検討した方がよい。 	
	b補習や調査前学習集中週間等により学習時間と学習環境を保障することができたか。	28%	33%	33%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の高い生徒に向けた補習は充実していたが、一部継続的に実施できなかったところもあり、来年度はその点について改善が必要である。 ・調査前のクラブ活動の在り方について、各クラブそれぞれの学習への取り組みがなされたが、統一感に欠けるところもあったので、クラブ顧問会での確認が必要である。 	
1-3 キャリア教育の充実	a各学年に応じた進路意識を高める取り組みを実施することができたか。	6%	28%	50%	17%	・各学年に応じ、新たな活動を取り入れるなど積極的に活動できたが、その取り組みが単なるイベントとならないように、各学年間で連絡を密にし、良い取り組みは継続できるようにする。	
	b就業体験活動への参加を促すことができたか。	11%	39%	33%	17%	・「すくせ修学」「一日看護師体験」等への参加の積極的な呼びかけを行ったが、一部の生徒の参加にとどまった。しかし、就職支援員の講演や丁寧な個別面談指導等によって、就業への意識を高めることができた。	
1-4 多様な進路希望への対応の充実	a教育課程、学習指導、教材選択など様々な角度から多様な進路希望への対応を検討できたか。	11%	44%	39%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様な進路選択を重視するあまり、最低限つけないといけない学力ラインが明確でなく、基礎学力の定着について検討が必要である。 ・教育課程委員会や学習指導委員会との連携を行ってきたが、来年度はさらに密に連携し、多様な進路であっても基礎学力の必要性を生徒に徹底したい。 ・教育課程委員会では、生徒の進路希望に即した講座編成となるよう改善に取り組んできた。今年度は、新課程となって3年目であり、全学年とも新しい教育課程となった。来年度は、地歴科目や理科科目について、生徒の学習状況や入試の状況などから、変更ができるかを検討する。 	
	b多様な進路選択に対応するため、生徒個別の指導を徹底できたか。	6%	39%	50%	6%	・志願理由書、面接、小論文、センター試験対策、各志望分野別学習会等、それぞれ個別の進路希望に応じた指導をすることができたが、若干取り掛かりの遅い生徒がおり、早くからの受験対策の必要性を生徒に徹底することが課題である。	
2-1 生徒の規範意識の向上	aネット上のトラブルやいじめ等の防止のために啓発できたか。また、諸問題を早期発見するために、面接週間を活用するなど日常的に生徒理解に努めることができたか。	6%	17%	17%	50%	11%	・生活指導アンケートにより、諸問題を早期発見することができた。ネット上のトラブルもあった。職員と生徒のネットに関する認識の違いが大きすぎて想定外の事例があり、対応するのが大変であった。ネットに関する講演会等も行ってはいたが、入学前からの問題もあったので、次年度は入学予定者オリエンテーションの際に保護者同席でネットトラブルについての講演会を予定している。
	b交通安全や交通マナー向上の意識を啓発できたか。	17%	28%	39%	17%	・自転車事故の報告が、昨年度6件が3件に減った。本校生だけでなく須坂警察署管内でも自転車事故が減っている。自転車安全運転モデル校として、交通安全委員会の生徒は、駅前駐輪場整備や街頭啓発活動にも参加できた。また、校内でも須坂警察署の協力により交通安全に関する全校集会を開くことができた。しかし、生徒自身の活動としてはまだまだの部分があり、来年度に向け生徒会交通安全委員会とともに新たな取り組みなどを考える予定である。	
	c携帯・スマホの授業中の扱いについて適切に指導できたか。	22%	39%	22%	17%	・携帯の授業中の使用については、ある程度指導できている。今年度は清掃中についても授業中と同様の扱いとしたこともプラスであった。しかし、授業中に使用しないものの、きちんとロッカーにしまわず手元に置いたままの生徒も少なからずいるようで、休み時間の間ずっとスマホをいじっている姿が気になる。	
2-2 身だしなみの改善	a身だしなみ(髪型、ピアス、サンダル登校等)を中心に日常的に指導できたか。	11%	44%	44%		<ul style="list-style-type: none"> ・髪型に関しては、年々指導が行き届くようになってきている。一部生徒が繰り返し指導を受けている。 ・カラーコンタクトが多くなってきていると指摘を受けた。その場で注意することはもちろんである。カラーコンタクトは度付であっても禁止であり、保護者にも知っていただくように通知をして協力していただかなければならないと考えている。 	
2-3 清掃の徹底と、環境・衛生面の向上	a清掃の徹底を図り、美化に努めることができたか。	28%	22%	39%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒、全職員で清掃にあたることで清掃活動に向けての意識が培われつつあるように思われる。 ・併せて生徒には、いま一度清掃活動の意味や役割を意識させ、限られた時間の中で徹底できるような方法を探っていきたい。 	
	b校内環境に気を配り、改善できたか。	6%	24%	35%	29%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・行事前に校内を見回り、担当クラスへ連絡することにより清掃状況改善される効果があった。継続してゆきたい。 ・職員が目が届きにくい自転車置場周辺のゴミの投げ捨てや、部室周辺の状況などを見ると、通常の清掃も「職員の監督の下で仕方なく清掃をやらせている」部分もあると思われるので、学校美化に対する根本的な意識や姿勢を改めてゆく手立てを考える必要があると思われる。
3-1 クラブ活動の充実	aクラブへの加入を積極的に促すことができたか。	17%	61%	22%		・クラブ説明会を更に工夫して多くの新入部員が入るよう努力していきたい。	
	bクラブ活動の充実に努めることができたか。	6%	28%	33%	28%	6%	・クラブ顧問会などで投げかけながらクラブ活動の充実に努めていきたい。特に日々の活動などは連携をとっていきたいと考える。また、施設面においても要求をしていきたい。
	c部室、使用施設の適正な使用を促せたか。	24%	47%	29%		・部室監査を行うことによって部室、使用施設の適正な使用を促せた。今後は部室の使用状況のチェックの回数を増やしていきながら適正な部室の使用ができるように支援していきたい。	
3-2 生徒会活動の充実	a日常の委員会活動を充実させることができたか。	11%	56%	28%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎周辺整備事業では多くのクラブの生徒が率先して活動に参加してもらった。 ・今年度は定期的な挨拶運動など行うことができた。今後も各委員会で活動を充実させるための支援を行っていきたい。 	
	b対外的な活動、ボランティア活動等を通して、生徒会活動の充実をはかることができたか。	17%	33%	39%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒に岩波講座や須坂市クリスマスレクチャーなどの対外的活動参加を積極的に呼びかけていきたい。 ・台湾や韓国の高校生たちと交流する機会が持て良かった。 ・エコキャップ回収や落ち葉拾いなどのボランティア活動にも力を入れることができた。 	
4-1 広報活動の充実	a学校・学年・クラス等、それぞれの立場から地域や保護者・同窓会への情報発信ができたか。	6%	33%	44%	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・「日滝の杜」発行回数についてはおおそ適切かと思われるので、内容面での更なる改善を図りたい。 ・学年通信、クラス通信など、それぞれで発行した。引き続き充実させたい。 ・オクレンジャーによる情報提供を行ったが、さらに充実を求める声もあり、努力したい。 	